

平成18年9月1日
株式会社三菱化学ビーシーエル
取締役社長 佐川直敏

検査過誤に関するお知らせとお詫び

今般、島根県立中央病院様におきまして、平成15年3月17日から同年9月3日までの間に弊社が受託致しました25名の患者様の乳腺免疫組織検査につき、検査結果を弊社が誤って報告したことにより医療事故が発生しました。

当該検査項目につきましては、病院様からは正しく「エストロゲンレセプター」または「プロゲステロンレセプター」との検査名称で依頼を受けていたにも拘らず、弊社の受付担当者が依頼伝票に手書きで転記をする際、「エストロゲンレセプター」を「エストラジオール」と、「プロゲステロンレセプター」を「プロゲステロン」と誤って転記してしまいました。そのため、本来の検査とはまったく別の検査を行い、その検査結果を病院様から依頼された本来の検査名称でお返しするという、誠に重大なミスをおかしてしまいました。

転記ミスが起きた原因は、弊社の受付担当者3名全員が、「エストロゲンレセプター」と「エストラジオール」を同一項目と誤認し、また「プロゲステロンレセプター」についても「プロゲステロン」と同一項目であると誤認していたことによるものであります。かかる重大なミスを起こしてしまったことに対しまして、誠に申し訳なく深くお詫び申し上げます。

今後は、二度とかかる事態を起こさぬよう、万全の対策をもって管理の徹底を期する所存でございます。特に、検査業務を通して医療に携わるものとして、「検査結果が患者様の健康と生命に大きくかかわっていること」を社員全員が常に肝に銘じて業務を遂行してまいります。

弊社のミスにより患者様、ご家族様をはじめ関係する皆様にご心配ご迷惑をおかけしたことに対しまして、重ねてお詫び申し上げます。